

令和4年度 第2回三重県特定（産業別）最低賃金専門部会議事録
（ 電気機械器具製造業 ）

- 1 開催日時 令和4年 10月4日（火） 10時00分～11時25分
- 2 開催場所 津市島崎町 327-2 津第二地方合同庁舎 地下共用会議室
- 3 出席委員
公益代表 中村 玲子 恒岡 純子 三好 正人
労働者代表 浅野 啓介 金森美智子 東 剛寛
使用者代表 大西 宏弥 倉光 優次 松山 佳史

4 議題

- (1) 金額検討について

5 開 会
(賃金係)

只今から、令和4年度第2回三重県電気機械器具製造業最低賃金専門部会を開催させていただきます。

本日の委員の出席状況でございますが、全委員の方が出席いただいております。

従いまして、この部会は、最低賃金審議会令第6条第6項の定足数を満たし、有効に成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

これより議事に入りますが、議事進行につきまして三好部会長よろしくお願いいたします。

6 議 事

- (1) 金額検討について
(部会長)

部会長を仰せつかりました三好でございます。昨年に引き続きですが、どうぞよろしくお願いいたします。

コロナの状況も昨日が397人の感染者の方で、1,000人の単位からだいぶ減ってきたとは言えるものの、1年前は7人とか6人というそんな数字だったですね。それからすると、何なのこの感染はという状況の中ではあり

ますけれども、3年ぶり4年ぶりですか、津祭りも後ろの三連休で開催されます。経済を回す力と物価高といった押し下げる圧力もだいぶ強くなってきている中で、業種それぞれで色がはっきり、好・不調の波も出てきているところかなとも思いますけれども、この10月1日から新しい最賃も933円、31円上がっております。

今回、特定（産業別）最低賃金は、あくまで労使双方のイニシアティブでやっていくという流れでございますけれども、大きな数字の動きがあった前提の中で皆さんご議論をしていただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、特定（産業別）最低賃金は、繰り返しでございますけれども、労使のイニシアティブにより、特定（産業別）最賃が必要と認めた業種について、設定をしているものでございます。当該労使のイニシアティブの発揮により全会一致の白丸での結審を目指したいと思っておりますので、是非よろしく願いできればと思います。

先日の合同部会においては、予備日を含めて、第4回までの開催日程を決めさせていただいたところですが、出来るだけ早い時期に具体的な数字を出していただいて、合意点を見い出していただければと思いますので、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

今日から、議題の金額検討に入っていただくわけですが、その前に、事務局から資料説明の方をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（室 長）

皆様、おはようございます。

それでは私の方から説明をさせていただきます。

前回、第1回合同専門部会の時に配布し、説明をさせていただきましたので、本日の資料はそれにプラスということで簡単に説明をさせていただきますと思います。

① お手元の方に配らせていただいた資料1をご覧くださいますと、「三重県の一般職業紹介状況」で一番新しいものを付けさせていただきました。

令和4年8月の状況のものです。

有効求人倍率（季節調整値）については1.43倍で、前月を0.01ポイント上回っております。

② 次に、資料2をご覧くださいますと、「最近の東海財務局管内の経済情勢」です。

総括判断は、今回（4年7月判断）で「緩やかに回復している」となっており、総括判断の要点としては、「個人消費は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等

の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。」となっております。

- ③ 次に、資料3は、「経済調査月報（2022年9月）」で、概況（全体感）は、「当地域の景気は、緩やかに回復している。」「生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる。」「個人消費は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。設備投資は、4年度は増加見込みとなっている。住宅投資は、おおむね横ばいとなっており、輸出は、緩やかに増加している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。」「先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。」とされております。

三重県の経済概況は、12頁になりますけれども、「供給面での制約等の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。」となっております。

- ④ 次に、資料4は、「東海3県の金融経済動向（2022年9月）」（日本銀行名古屋支店）で、（概況）は、「東海3件の景気は、持ち直しの動きが一服している。

輸出と生産は足踏み状態となっている。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、持ち直しの動きがみられている。公共投資は高めの水準で推移している。設備投資は横ばい圏内となっている。住宅投資は弱い動きとなっている。

雇用・所得情勢は緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は前年を上回っている。

金融環境をみると、東海3県の金融機関（国内銀行、信用金庫）の貸出は、前年を上回っている。貸出約定平均金利は引き続き低下傾向にある。

景気の先行きについては、持ち直しの動きに復することが期待されるが、そのペースは緩やかなものにとどまるとみられる。」

となっております。

- ⑤ 資料5は、本年審議をお願いしている電気機械器具製造業に係る年次別決定状況でございます。

昨年は、21円、率で2.32%アップで金額が927円となったところでございます。こちらにつきましては、昨年12月21日からの発効となっております。

⑥ 資料6は、金額改正の必要性をご審議いただくにあたり、参考人意見聴取をアンケート形式で行い、対象事業場から回答を得たものでございます。

⑦ 資料7は、平成14年の中央最低賃金審議会産業別最低賃金制度全員協議会報告文書でございます。

先程、部会長のご発言にもありましたが、「特定最低賃金は、労使のイニシアティブ発揮により設定されるという性格である。」旨が記載されておるところでございます。

⑧ 資料8は、「令和4年最低賃金に関する基礎調査の概要」です。

この調査の目的については、調査の概要1ページ 1.の通りですが、審議会、専門部会においては、主に影響率、未満率を見ていただく総括表のデータとなる資料になります。

(部会長)

ありがとうございます。

いつもながら、大変資料の量が多くございますので、今直ぐご質問等々は難しいかもわかりませんが、今、何かご質問ございますでしょうか。また、後ほどでも結構でございますので、事務局のほうへ言っていただければと思います。

それでは、資料説明は以上とさせていただきますして、金額検討に入らせていただきたいと思います。

審議の進め方ですが、従来と同様であれば、労・使が分かれてご検討していただき、それぞれの立場を固めていただいて、その結果を公益委員がお聞きするというようなことになります。

このように進めさせていただいてよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

それでは、そのような流れでさせていただきますと思います。

分かれていただく前に、労使それぞれご意見ございましたらお伺いさせていただきますと思います。

如何でしょうか。労側。

(浅野委員)

特にございません。

(部会長)

よろしいですか。

(浅野委員)

よろしいです。はい。

(部会長)

使側委員の皆様、よろしいですか。

はい、ありがとうございます。
それでは、一旦、休会といたします。

— 労使個別協議会場へ —

— 全体会場へ集合 —

(部会長)

それでは、全体会議を再開させていただきたいと思います。

本日は、初日ということもございまして、双方に分かれていただきましたけれども、最低賃金を廻る状況とか、姿勢、考え方というのを伺いさせていただいて、金額検討というのは次回かなという形で、お話を聞かせていただきました。

公益といたしましても、次回以降しっかりとご議論をしていただけますよう、我々も努力をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、冒頭にも申し上げましたが、部会は予備日を含め4回、あと2回、一応4回目は予備日ということでございますので、次回3回目で決めさせていただければ、本当に有難いことでございますが、真摯なご議論をしていただきまして、よろしくお願いをしたいなと思います。

次回は、来週10月11日(火)13時30分、場所は、こちらでございますので、皆様参集の程をよろしくお願いいたします。

本日はこれにて閉会とさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。お疲れさまでした。

(皆)

ありがとうございました。

以上